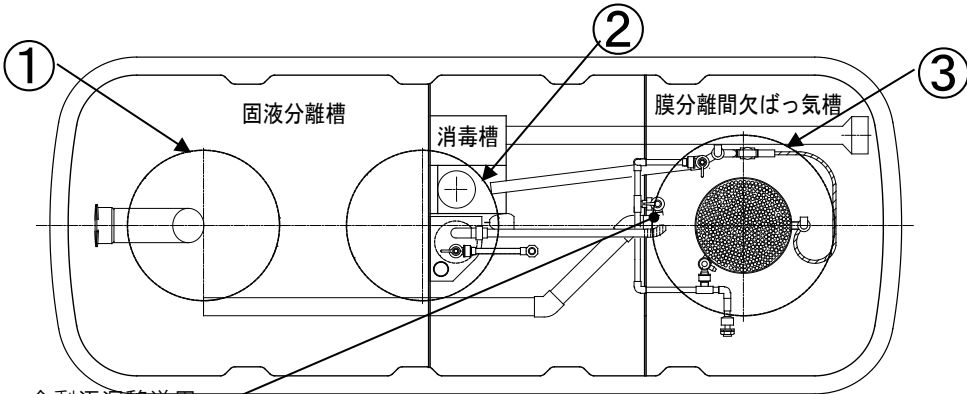
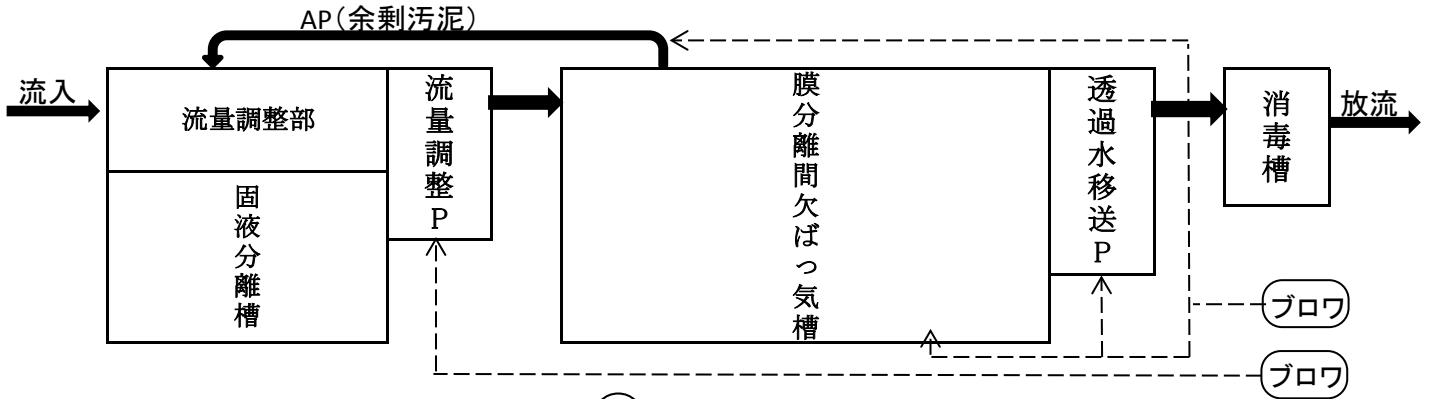
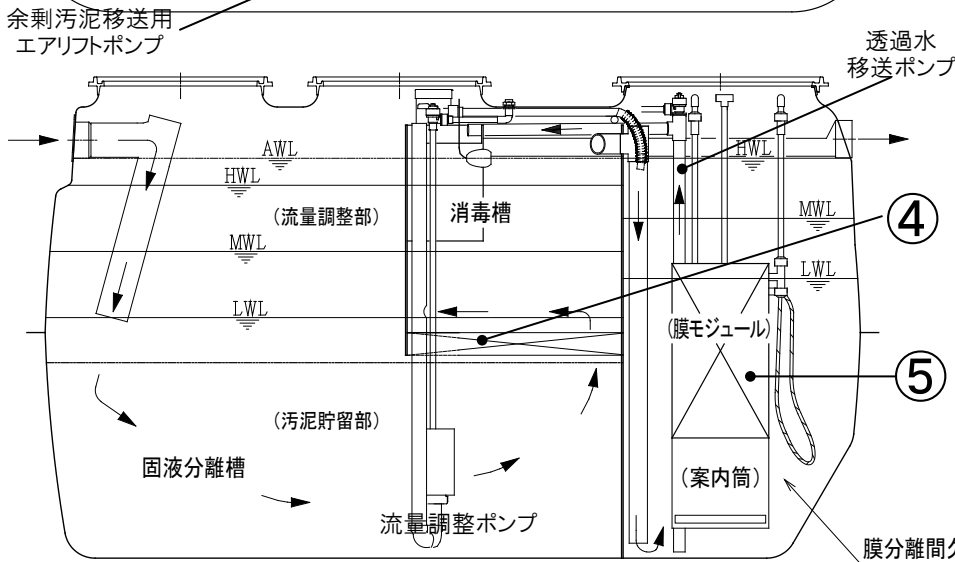


MBN フジクリーン工業(株) 窒素除去・BOD高度処理型 OEM: なし 共同開発: なし 処理方式: 重力ろ過式膜分離型活性汚泥方式 5・7・10人槽	全浄協登録値		
	BOD	SS	T-N
	5mg/L以下	—	20mg/L以下
	性能評定または性能評価値		
	BOD	SS	T-N
5mg/L以下	5mg/L以下	10mg/L以下	



- ① 固液分離槽
- ② 消毒槽
- ③ 膜分離間欠ばっ気槽
- ④ 固液分離槽ろ材
- ⑤ 膜モジュール



有効容量 (m ³)		5人槽	7人槽	10人槽
槽名	固液分離槽 (L.W.L)	1.377	2.114	2.612
	膜分離間欠ばっ気槽 (H.W.L)	0.764	1.164	1.572
	(M.W.L)	0.756	1.091	1.532
	(L.W.L)	0.616	0.885	1.231
	消毒槽			0.021
合計		3.047	4.585	6.003

槽底部からろ材受け面までの距離 (mm)	固液分離槽	675	900
----------------------	-------	-----	-----

流量調整装置	流量調整バルブ目盛(%)			透過水バルブ目盛(%)	汚泥移送用バルブ目盛	散気バルブ目盛	透過開閉用バルブ目盛
	5人	7人	10人				
有	7	9	10	50	閉	開	開

人槽	ブロウ風量(ℓ/分)	ばっ気時間(分)	停止時間(分)
5	200	25	35
7	250		
10	300		

〔人槽に対する流調水量の設定範囲〕

人槽		5	7	10	
流調	定量移送装置	H.W.L・M.W.L	0.9~1.1	1.4~1.7	1.8~2.2
	水量(ℓ/分)	L.W.L	0.6~0.8	0.9~1.2	1.2~1.6

・流量調整定量移送水量は、(1)使用水量(日平均汚水量)、(2)実使用人員、(3)人槽の優先順位で判断して上記の範囲になるように調整してください。

種汚泥投入量

種汚泥MLSS濃度(mg/ℓ)	膜分離間欠ばっ気槽に残す清水位(mm)	種汚泥投入量(ℓ)		
		5人	7人	10人
5,000	0	800	1,100	1,600
6,000	100	700	1,000	1,400
7,000	250	600	900	1,200
8,000	400	500	700	1,000
10,000	550	400	600	800
15,000	700	300	400	600
20,000	850	200	300	400

特 徴

固液分離槽 大きな固形物、油脂等の固液分離を行う。流出部の槽中央部に充填された網様マット状ろ材により捕捉される流出水はろ材上部の取水口より揚水され間欠定量ポンプによって膜分離間欠ばっ気槽に移送される。槽上部が流量調整部となっており水位変動する。A.W.Lとなると警報装置が作動する。

膜分離間欠ばっ気槽 中心ばっ気にて活性汚泥が攪拌混合され、BOD除去及び硝化反応が進行します。脱窒反応を進行させるため、間欠ばっ気となります。なおブロワーは、ばっ気用、流量調整移送用の2台となります。槽上部は水位変動し、水頭差にて膜分離装置を通過し重力ろ過されます。余剰汚泥は槽内に設置されたエアリフトポンプにて固液分離槽に移送されます。

膜分離装置 約625本の管状膜からなる膜モジュールと散気管、案内筒などで構成されています。透過水は消毒槽に移送されます。

作業時のポイント

保守点検

- ①固液分離槽にスカム、堆積汚泥の状況を確認し、清掃時期の判断を行う。網様マット状ろ材が閉塞している場合は空気洗浄(逆洗)を行う。警報用フロートスイッチの動作確認を行う。
- ②流量調整ポンプの移送水の性状を確認する。バルブ開度を点検し、移送水量(1.6ℓ/回)を実測して確認する。必要に応じてポンプ、配管を洗浄し洗浄後移送水量の再確認。
- ③移送水量を上表の水量になるよう実測して調整してください。
- ④膜分離間欠ばっ気槽内攪拌状況の確認後、槽内MLSSを5,000mg/ℓ~12,000mg/ℓの範囲であることの確認をする。MLSS濃度が著しく高く、なおかつ固液分離槽堆積汚泥が5・7人槽が55cm未満、10人槽が70cm未満の場合はエアリフトポンプ等で固液分離槽に移送する。膜分離装置のバルブ開度、膜分離装置透過水の性状、水量の点検を行う。透過水量等の不足がある場合は膜表面の汚泥を除去し、場合により槽外に取り出して洗浄する。なお膜モジュールは、必要に応じて薬品洗浄(約6ヶ月に1回)実施してください。

清掃

- ①膜分離型浄化槽である為、6ヶ月に1回以上清掃実施してください。(保守点検は3ヶ月に1回以上)
- ②固液分離槽の汚泥は全量引き出してください。膜分離槽は通常水位時MLSSが5,000mg/ℓ程度に調整してください。